

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

発行日：令和2年6月25日

小児科専門医による 無料オンライン子育て相談会



お子さんの気になるところを
オンラインにて
医師が無料で相談にのります！



水曜日担当
坂口公祥先生 小児科
専門医



木曜日担当
牧野理沙先生 小児科
専門医

新型コロナ感染症などで
何となく受診を控えている
けど…子どものことが心配



相談会の概要

開催日程

第2、第4水曜日 12:00～12:20

毎週木曜日 12:00～12:20

溝回ファミリークリニック

オンラインセミナーはZoomを用いて行います。(事前申し込み制)

お子さんのことが心配なご家族
を支援するために医療関係者ら
の協力を仰ぎ、協働まちづくり
(市民活動支援事業)に提案し
ました。



溝口哲弘先生

協働まちづくり事業【#みんなで一緒に乗り切ろうプロジェクト（コロナ対策緊急支援編）】

令和2年度補正予算案額 3,000千円

5月
補正

市緊急支援フェーズの基本方針<3つの柱>への対応

情報を届ける

感染を抑える

暮らしを支える

総合戦略室

事業の内容

事業目的・概要

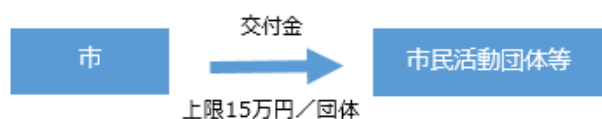
- 新型コロナウイルスの感染に伴う休業要請や休校措置などにより市民生活や事業活動をはじめ、矢継ぎ早に示される国や県・市の方針や支援策に対する理解や対処しきれないことが地域課題となっている。
- その一方で、市内では様々な制約がある中で地域内の課題解決に向け、①飲食店主らによるテイクアウトの共同運営や、②商工会議所青年部によるマスクの需給調整運動、③「#Stay Home」を促進させるためSNSや動画配信などを活用して親子でのお菓子作りや軽運動、コミュニケーションの機会創出など、有志による支援活動が台頭。
- 地域内の課題と市民ニーズを的確に把握し、スピード感をもって対処するため、課題解決に向けた市民のアイデアを尊重し、利他の心を持って活動する団体等を支援する新たな枠組みへの期待がある。
- そこで、本事業は、コロナ収束までの間の緊急支援フェーズにおける支援策の充実を図るため、「#みんなで一緒に乗り切ろうプロジェクト（コロナ対策緊急支援編）」を設け、申請から審査・補助金交付までに一切の手続きを大胆に簡素化し、シンプルで柔軟かつ機動的な運用を実現させる新たな制度を創設する。

成果目標

- 新型コロナウイルスの影響による地域課題を浮き彫りにし、①きめ細かく、②スピーディーに、③支援が行き届く、④市民主体による、⑤互助の充実を図ることで、課題の解決と新たな担い手の発掘を行う。

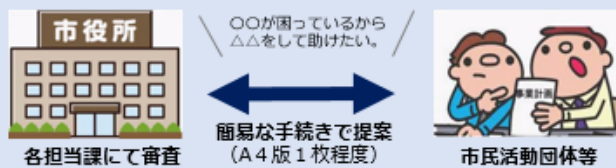
課題解決の提案・申請件数：20団体（20件）

条件（対象者・対象行為・補助率等）



※地方創生臨時交付金（国費10/10）の活用予定

事業のイメージ



<審査結果> ○：採用、△：条件付き採用、×：不採用（再検討）

想定される提案事業

市のコロナ対策に係る基本方針「緊急支援フェーズの3つの柱」に寄与する事業

情報を届ける

「どうしていいのかわからない」不安を解消し、必要な支援が受けられるようにWEB会議や親子向けの動画配信などSNSを活用して市民に役立つ情報を幅広く届けたい。



感染を抑える

マスクの品切れが続くなか、子育て世代の不安が増加中。そこで、在庫に余力のある家庭や企業からマスクを提供いただき、子育て支援グループなどに届けることで需給のミスマッチを解消させたい。



暮らしを支える

巣ごもり消費が急増する中、家庭への配達ニーズが高まるが、飲食店が個別配達には困難。そこで有志が集い、数店舗が共同で新サービスの実装に向けたデリバリーを実証し食事を届けたい。



市民団体等

申請
(提案)

市

簡易審査
(書類のみ)

交付金
(全額費負担)

活動実施

実績報告

簡易報告
(活動写真等)

交付確定